

熱くひびけ！



'94 9/15

町民

— 第5回鷹巣町美術展覧会 —

ギャラリー

⑪ (写真の部)

奨励賞



「赤いかさ」

藤嶋 源さん(綴子下町)

〈選者評〉

遠景の川面の光りと緑一杯の画面を赤いかさの子供で引きしめ、まとめた画面構成が印象的な作品。

奨励賞



「夕景」
上関 恵治さん(あけぼの町)

〈選者評〉

夕陽を受け、暗部から強烈に浮かび出た緑の輝き、伸びた樹蔭が画面をまとめた作品。

※審査員 秋田県写真協会副会長 碓谷欽一郎 氏

16・日	15・土	14・金	13・木	12・水	11・火	10・月	9・日	8・土	7・金	6・木	5・水	4・火	3・月	2・日	1・土	〈10月〉	30・金	29・木	28・水	27・火	26・月	25・日	24・土	23・金	22・木	21・水	20・火	19・月	18・日	17・土	16・金	15・木	〈9月〉	
						体育の日・町民健康のつどい	世界郵便デー	寒露・木の日(林野庁)		国際協力の日					全国防犯運動(〜10日)							第六回一〇〇キロチャレンジマラソン	環境衛生週間(〜10月1日)	秋分の日			秋の全国交通安全運動(〜30日)	彼岸の入り・動物愛後週間(〜26日)		鷹巣地区敬老式・全町クリーンふるさとデー				敬老の日・七座・坊沢・綴子・栄・沢口・七日市敬老式

・体力づくり強調月間
・食生活改善普及運動月間

- 町民ギャラリー
(町展入賞作より) …………… 2
- 観光のまちづくりイベント
…………… 4
- 厚生省横尾局長が来町
鷹巣の福祉を現場で激励 …… 6
- 町長と語る会が開催されています
「町長日誌」 …………… 7
- 厳しい残暑の中、汗だくの
町民体育祭(カメラスケッチ) … 8
- 北欧行政視察報告 …………… 10
- 健康広場 …………… 12
- まちの話題 …………… 14
- 暮らしの情報 …………… 15
- 文化庁移動芸術祭寄席芸能公演
…………… 18

〔表紙のこぼ〕



来年の町村合併40周年を前にイベントとして行われたシンポジウムとフェスティバルは、たかのす風土館が超満員の盛況でした。中でも、石川県松任市から参加したプロの女性太鼓グループ「炎太鼓」の演奏は力強くダイナミックなバチさばきで、観客の魂を揺さぶるような迫力が感じられました。

(関連記事4～5面)

人口と世帯数	8月31日現在
	住民基本台帳による

総人口	23,270人 (18人減)
男	11,207人 (8人減)
女	12,063人 (10人減)
出生	19人 転入 43人
死亡	22人 転出 58人
世帯数	7,398世帯 (5世帯減)

カルチャー&スポーツ



ファルコン

- 9・17(土) 「おはなしでてこい」絵本の読み聞かせ、紙芝居など
主催：町立図書館ボランティア たまたまぼこ 14：00～
- 9・18(日) '94夏の東映アニメフェア
①10:20～ ②12:30～ ③14:40～
「ドラゴンボールZ・スラムダンク・ドクターズラン
プアラレちゃん」
- 9・24(土) 鷹阿音楽研究会ピアノ公開講座 18：30～20：30
入場／無料
- 9・25(日) 鷹巣阿仁部吹奏楽連盟合同演奏会 13：00～15：00
入場／無料
- 10・14(金) 成田睦子・北嶋いずみジョイントコンサート 19：00～
入場／一般 1,000円、ペア券 1,500円

《お知らせ》

町立図書館の開館時間が変わります。
9：30～17：00まで (10月1日から)

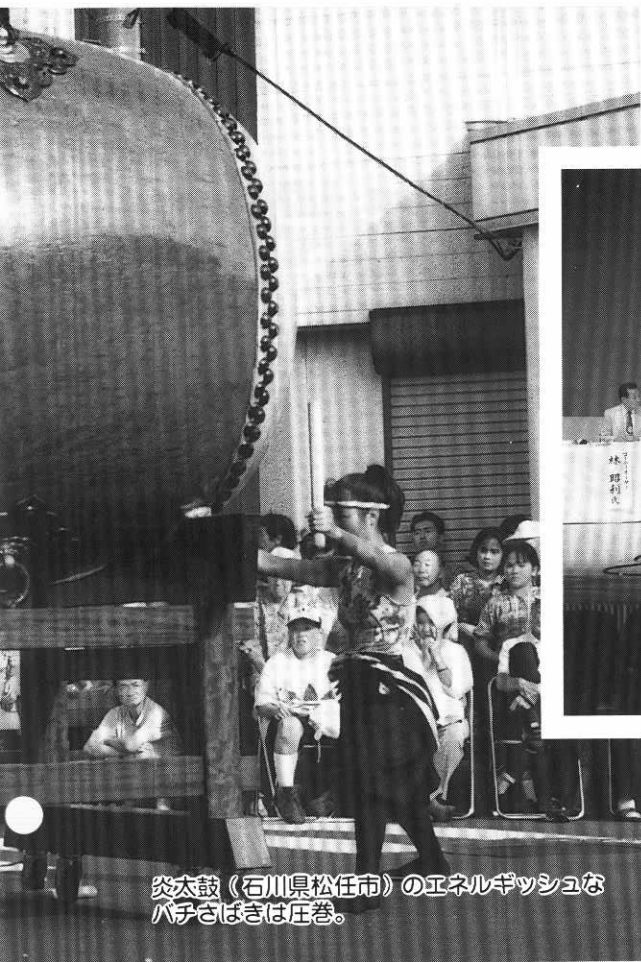
※詳しいことは、ファルコン (62-3311) まで

中央公民館

- 9・18(日) 鷹巣地区敬老式
- 9・22(木) 鷹巣町婦人リーダー研修会
- 9・24(土) 消費者の会フリーマーケット (バザー)
- 9・25(日) 鹿角大館鷹巣観世流謡曲発表会
- 10・1(土)・2(日) 松生派華道展

スポーツ

- 9・17(土)・18(日) 郡市中学校新人卓球大会 鷹巣体育館
 - 9・17(土)・18(日) 全県高校新人ソフトボール大会 河川公園
 - 10・5(水)～7(金) 県北高校新人バドミントン選手権 鷹巣体育館
 - 10・10(月) 健康のつどい //
- ※今年度は駅伝が中止になります。なお、来年度からは地域の愛好者と協議のうえ、全地域が参加できる方法で実施の予定です。
- 10・15(土)・16(日) 全県総合バドミントン選手権大会 鷹巣体育館



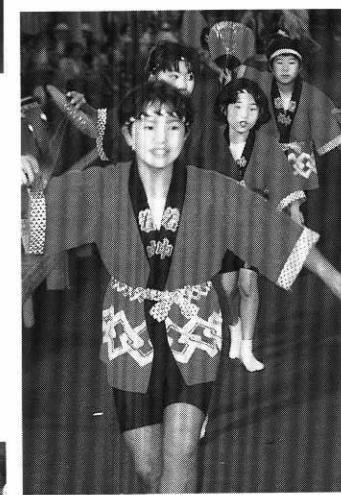
炎太鼓（石川県松任市）のエネルギーな
バチさばきは圧巻。



▲各パネリストが「情熱と元気で大太鼓の里を
売り込め」とエールを送ったシンポジウム。

とれた人たちの つたわる!

平成7年度）イベント～



ど
ん
ど
こ
阿
波
踊
り

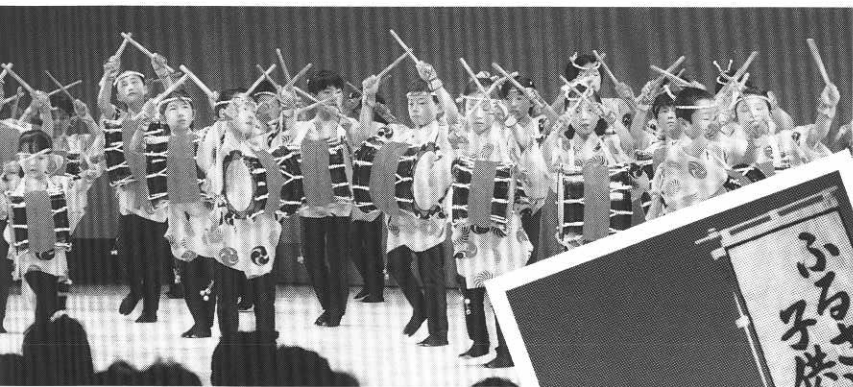
町村合併四十周年を来年に控えた
イベントが九月三日、四日の
両日たかのす風土館を会場に開か
れ、「大太鼓の里たかのす」を熱
く内外にアピールしました。初日
のシンポジウム（次号であらま
しを掲載予定）では、太鼓の専門
家などがその魅力を語り合い、二
日目のフェスティバルでは、県内
外の八グループがダイナミックな
バチさばきを披露、夕方から行わ
れたどんどこ阿波踊りまで終日観
客をたんのうさせました。



1994鷹巣町観光のまちづくりイベント
9・4 FESTIVAL



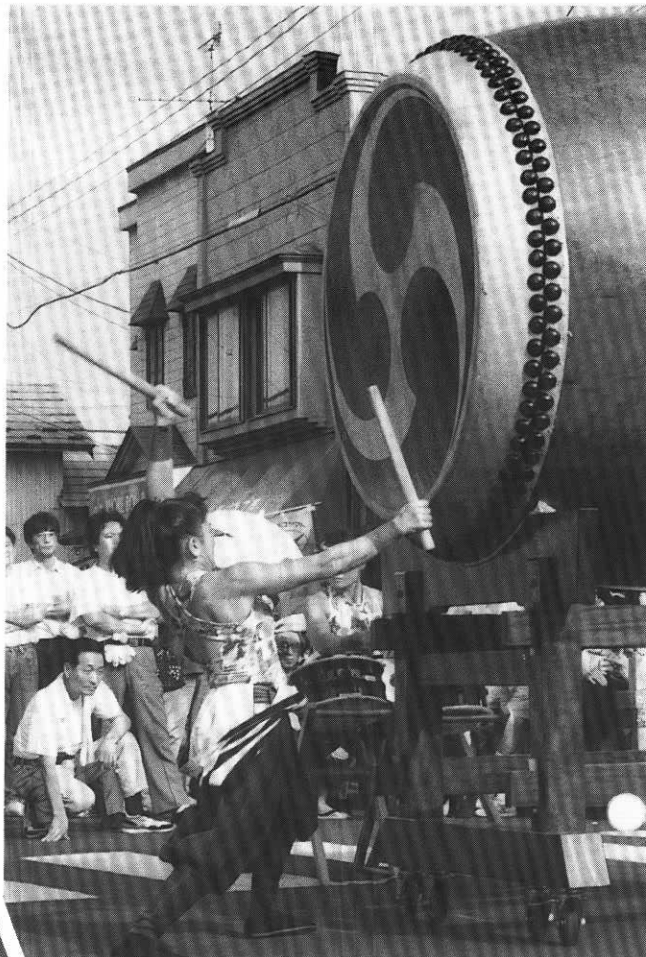
るんびに太鼓（大阪府茨木市）の躍動感あふれる演奏は、観客を魅了。



ふるさと子供太鼓も一生懸命熱演（上）綴子下町婦人会（下）も子供たちと息の合った演奏を披露。



赤フンで頑張った「ほく」に拍手



太鼓に魅 魂が

～町村合併40周年



地元鷹巣美ばやし（右）、婦団連ふるさと太鼓（左）の熱演に場内も興奮。



横尾和子厚生省 老人保健福祉局長 福祉ワーキンググループなどを 激励

厚生省の初代老人保健福祉局長横尾和子氏（九月二日付社会保険庁長官に就任）が当町を訪れ、福祉のまちづくりワーキンググループの活動などを視察し、「厚生省のスタッフは皆鷹巣町のファン、総力をあげて応援したい」とエールを送りました。

横尾局長は、九月一日秋田市で開催された全国老人福祉

施設大会に出席されたあと、住民参加の福祉のまちづくりを推進している当町の取り組みと住民の活動ぶりを視察するために各現場を回り、要望などを聞き、アドバイスを送りな

がら激励していました。

鷹巣町でやっていることを全国に広めたい

町庁舎に町長を表敬訪問した同局長は、町長、議長などの懇談の中で、「人口の高齢化率は、あと三十年で二十％に達することは確実に、いかに早く対応するかがカギになる」また、「おそらく、これから五年の間に高齢化社会の保障の問題などは大きく変わるように思われますが、自分達で工夫して作って実践しているところは、良く変わるでしょう」さらに、「新ゴールドプランにヘルパーの二十四時間サービスを盛り込んだ。鷹巣町でやっていることをぜひ全国に広めたいので、これから鷹巣町では在宅サービスをしっかりと進めるようがんばってください」と当町の福

祉に対して深い理解を示されました。

その後、老人訪問看護ステーションを訪れ、

予定表などを見ながら、

「このスタッフで良くやられてますね」とねぎらいの言葉をかけ、いろいろな質問やアドバイスをを行い、町社会福祉協議会へと向かいました。

同協議会では、ヘルパーたちと親しく懇談し、二十四時間派遣について詳しい説明を受け、いろいろアドバイスを与えたあと、「皆さん、何か厚生省へ要望することはありますか」と気さくに声をかけられ、「この町は秋田杉の主産地なので、これを活かして使うかたちによくフィットするような補助器具の部品を製作してみたらどうでしょう」とアイデアを出されるなど、予定の時間をオーバーしての訪問となりました。



局長あいさつするグループ全体会

福祉は日本のこれからの社会を築くシステム

視察の最後は、広域交流センターで開かれている福祉のまちづくりワーキンググループ全体会でした。各グループの活動報告を聞いたあと、次のようにあいさつされましたので、その要旨を紹介します。

初代の老人保健福祉局長の任期にとどまっているうちに、ワーキングの皆さんにお目にかかる機会が与えられたことに感謝申し上げます。いつも皆さんが「こんな活動をされていますよ」と岩川さんから報告していただくことが大変楽しみです。

さて、厚生省がいまかかえている大きな課題は三つあります。一つは、エイズという新しい感染症に対してどう取り組んでいくか、という問題。二つ目は、子供が少なくなっているという問題。昨年はどうとう赤ちゃんの数が百二十万人を割ってしまいました。そして三つ目は、高齢化社会の問題です。

かねてから、エイズの問題は周りに隠してきましたし、子供の問題は夫婦の問題であって行政が関わる問題ではないといわれてきました。しかし、これらの問題は、社会全体の問題として、考えるべき時期にきています。

福祉については、気の毒なことに対して手を差し伸べるのではなく社会のシステムのひとつとして考えるべきです。通産省や経済企画庁は白書の中で産業、製造業の空洞化をあげているが、福祉や医療は日本のこれからの社会を築くシステムとして、社会の仕組みを再構築していくことにならなければならないでしょうか。

厚生省のスタッフは鷹巣町のファンです、総力をあげて応援するので今後も大いに活躍してほしいと結びました。



横尾局長と懇談する議長、町長

町長日誌

8/16~31

16日(火) 第7回全日本レディースアユつり、94ヨネシロカップアユ選手権大会開会式に出席。

16日(火) 鷹巣町民盆踊り大会に参加、町民とともに踊りの輪に入り夏のひと時を楽しんだ。

19日(金) ガールスカウト日本連盟秋田県支部キャンプ村開村式に出席。

19日(金) 文化座の「マヨイガの妖怪たち」鷹巣公演を観劇、約六百名の観衆とともに、役者たちの熱の入った演技を堪能した。

20日(土) 鷹巣町婦人学級連絡協議会結成10周年記念式典に出席、協議会の永年の活躍に対して感謝とお礼を述べた。

21日(日) 鷹巣地区交通安全協会綴子支部会員親睦/バレーボール大会に出席。

21日(日) 栄地区滝ノ沢林道拡幅工事竣工祝賀会に出席。

22日(月) 町営テニスコート場改修工事竣工祝賀会に出席。

24日(水) 森吉町外四力町村病院組合議会に出席。

24日(水) あきぎん会総会に出席。

25日(木) 厚生年金東北友の会親善ゲートボール大会開会式に出席。

26日(金) 国土政策研究会(野呂田芳成会長)主催のシンポジウム「米代川流域地方拠点都市への提言」に出席、歓迎のあいさつのおと参加者とともに大館能代空港や高速道路整備等、米代川流域の振興策などを探った。

28日(日) 第32回鷹巣町民体育祭に出席、千五百名余りの町民が参加する中、ともに競技に参加し、心地よい汗を流した。

29日(月) 鷹巣阿仁広域市町村圏組合臨時議会に出席。



120人の参加者と熱心に語り合いました(七日市)

「町長と語る会」が開催 がされています

町では、住民参加のまちづくりの一環として、ヤングマンテール、まちづくり町民会議、福祉のまちづくりワーキンググループなどを行っています。開催要望がある地域に町長や役場関係課長が向き、「町長と語る会」を開催しています。地域の現状や町の将来について、ひざを交えて語り合いませんか。

『住民参加型の行政を』 七百人を超える出席者

住民参加の行政をまちづくりの基本に据え町政を推進している当町では、町民の生の声を行政に反映させ、町と町民の連携によって合意形成を図りながら住みよいまちづくりを進めようと、各地区で「町長と語る会」を実施しています。

平成五年度は九会場で開催しましたが、延べ七百人以上の町民が出席し、

地域の現状や課題、町の将来などについて熱心に語り合いました。また、「町長と語る会」で出された各種の要望や提言には、役場より関係課長が向きお答えするなど、住民ニーズの把握に努めるとともに、町の施策を説明し、町政に対する関心や理解を深めていただいています。

開催申し込みは地区 または町内単位で

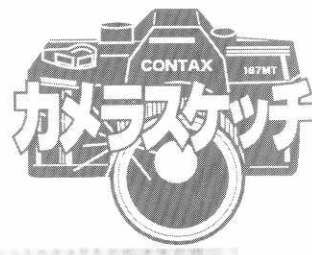
「町長と語る会」は、今年度も数



ひざを交えて夜遅くまで語り合いました(綴子大畑)

カ所で開催されていますが、地区の自治会などからの申し込みにより、開催日時を調整のうえ、随時開催します。(集落単独でも、地区合同でもかまいません) 申し込みお申し込みください。
【申し込み・問い合わせ】
役場総務課秘書係 ☎六二一一一一
(内線二二二)

第32回
町民体育祭



沢口下部チーム堂々の入場行進



大堤前野チーム三沢進さんの力強い選手宣誓



「早くあわないかな...」豪華賞品で人気の大ビンゴゲーム

残暑
厳しいなか
汗だくで
競技



「宝さがし」には大勢のお年寄りが参加

第三十二回を迎えた町民体育祭が、先月二十八日(日)鷹巣陸上競技場を会場に、町民約千五百人が参加して行われました。

当日は、前夜の雨も上がり、青空がのぞくと太陽が照りつけ、テント内で応援する人たちも選手たちも汗だくになっての体育祭となりました。

開会式前に行われた大ビンゴゲームでは、参加者全員が豪華賞品をめざし挑戦するなど、なごやかな雰囲気の中に競技が進められ、歓声を上げながら親睦を深めていきました。

【総合成績】

- 一部 ▽一位||南鷹巣▽二位||沢口下部▽三位||大太鼓
 - 二部 ▽一位||太高▽二位||大堤前野▽三位||摩当
 - 三部 ▽一位||かもしか▽二位||七日市▽三位||前山黒沢
- 【綱引きの部優勝チーム】
- ▽一部||沢口上部
 - ▽二部||綴子東
 - ▽三部||前山黒沢



「町長が応援しているぞ！」ソレツ、ヨイシヨ、ヨイシヨ!



余裕の笑いで圧勝?それとも



「ワァ、ヤッター.....」



「ラムネをこう持ってこうして飲んでー」

新種目は
研究が第1!!



「おととと、あわてて飲みすぎちゃった」「いい飲みぶり!」でも玉がじゃまして出てこない!



ご存じ「伊勢町フラダンス応援団」

歓声がこだまして.....



「タツ、タツ、タ、タツ、タツタ」息の合った太高チームの応援



婦人会、ふるさと太鼓、子供太鼓が披露した「お米さん音頭」

北欧行政視察報告

去る7月12日から21日の10日間、秋田魁新報社と北欧の翼実行委員会主催による「北欧の翼事業・北欧の杜コース」（一行18人）の行政視察が行われ、鷹巣町からは永井與蔵町議会副議長と仲谷茂好役場地域政策課地域振興係長が派遣されました。

以下では、フィンランドとノルウェーの2カ国を視察した仲谷係長からの報告をご紹介します。



「フィンランド・ラップランド地方の屋外博物館」
先住民の生活様式を展示している
(写真右が永井副議長、左が仲谷係長)

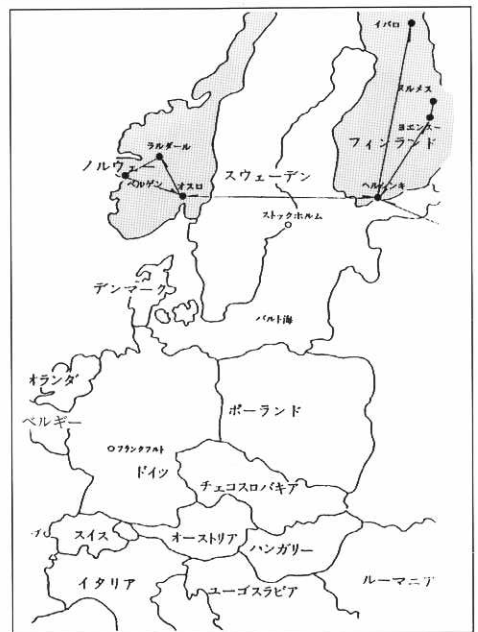


「フィンランド・ヌルメスにあるログハウス」
(ボンバの家)

同地方のプーヌルメス地区では、都市計画整備を視察しました。この地区は一八〇〇年代初頭に都市計画が施行され、一八七九年に整備事業が完成し木造住宅の延焼防止の防火帯や、車と歩行者・自転車用に分離された広い道路を配置しています。戦火を免れて当時の面影を残しているのは国内でここだけであり、今は保存のため勝手な改造は認められておらず、この地域の住民や国の先見性には感心させられました。

ログハウスの視察地は首都ヘルシンキから北のヌルメスの町でした。ここには、一八五九年に釘など殆んど使わずオノだけで組み立てられた巨大なログハウスがありました。これは国の施策により最近復元され、この地方の観光施設として利用されており、敷地内には同じログハウスのホテル、会議施設、野外劇場等があり観光拠点となっています。「北欧の杜」公園整備との関わりから視察団一行は大きなヒントを得たと思えます。

「北欧の杜コース」の行程



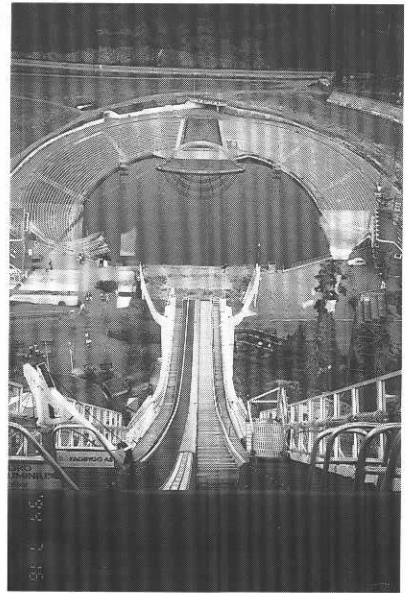
秋田魁新報社と北欧の翼実行委員会主催の北欧の翼視察団の一員として、七月十一日から十日間の日程でフィンランドとノルウェーの二カ国を視察してまいりましたのでご報告いたします。

秋田空港からチャーター便で十時間の空の旅、最初の訪問国は、一九七一年にロシアから独立した森と湖の国・フィンランド共和国でした。この国は日本の四国を除いた程の面積で、基幹産業は農林業であり、特に林業はパルプ用材、合板、チップ等で外貨獲得に大きく貢献しています。また、建造物も木造が大半を占める中、特徴的なのはやはりログハウスでした。

「フィンランド・プーヌルメスの都市計画道路」



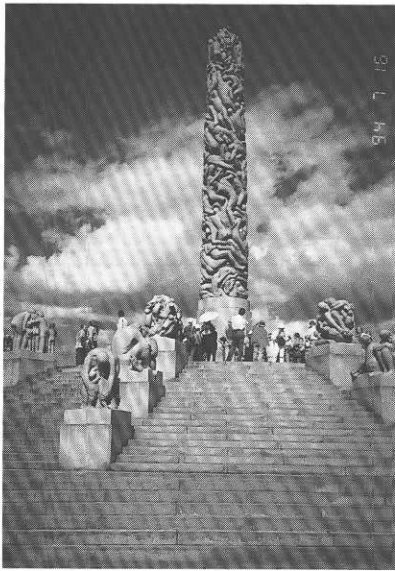
「ノルウェー・ホルメンコーレンのジャンプ台」
着地面が多目的競技場になっている



次の訪問国は、一九〇五年にスウェーデンから独立したフィヨルド（入り江）の国・ノルウェー王国でした。この国の面積はフィンランドとほぼ同じで、基幹産業は北海油田から産出される石油であり、農業は地形的にあまり盛んではありません。

首都オスロは芸術文化が盛んで、特にヴィーゲラン彫刻公園は三十二万平方メートルの敷地内に六百以上の彫刻群があり、その景観には圧倒されました。

また、スポーツ施設として一九五二年、冬期オリンピックが開催されたオスロのホルメンコーレンジャンプ台を視察しました。この施設は水泳、サッカーも可能な屋外競技場で通年使用できるよう建設されています。特に積雪地域においては、多目的に利用できる施設が必要であることを視察団一同再認識させられました。



「ヴィーゲラン彫刻公園のシンボル」
一本の石塔で、百二十一体の像からできている



「ノルウェー・オスロのヴィーゲラン彫刻公園」

初めて北欧を訪れ視察を通じて感じたことは、国全体が自然公園であり、そこに住む人たちはおほかたでとても親切でボランティア精神に満ちあふれているということでした。また、両国とも日本の国土とほぼ同じながら人口五百万人と少ないながらも、地域の特性を生かしたそれぞれの生活様式を確立していると思いました。

すべての視察を終え、現地の日本人ガイドが、「北欧諸国は基盤整備や社会保障に重点をおき、国民が安心して暮らせるような国策をとりながら実行してきた歴史があります」と説明していたことが印象に残っています。

最後に、言葉や生活様式が異なる北欧を視察しこのような貴重な体験ができたことを、今後の行政に少しでも役立てていきたいと思えます。

健康広場



福祉保健課からのお知らせ

保健婦からのメッセージ

健診を受けたあとで

■健診はアフターケアが大切

健診は受けっぱなしでは意味がありません。病気が見つからなかったと油断して不規則・不摂生な生活を続けていると思わぬ落とし穴が。現在の健康なからだを維持するためにも、食生活の改善や運動不足の解消など健康生活を心がけましょう。

■「異常なし」といわれたら

あなたからだとはいってよいでしょう。健康体であるといつてよいでしょう。

でも、安心は禁物！健診の検査データはその検査時点の結果であって、半永久的に健康が保証されたわけではありません。健診は継続的に行ってこそ意義があります。一年に一回は定期的に受診し、からだのチェックをすることを忘れずに。

■「要精検」といわれたら

「要精検」とは「疑わしいところがあるのでもう少し詳しく調べてみましょう」ということで病気が診断されたわけではありません。たまたま検査した日の体調が悪く、それが検査結果に影響していたということもあります。ですから、迷わずに精密な第二次検査を受けましょう。

さらに病気が見つかったとしても、早期発見、早期治療ができれば、何もかわることはありません。あとは、いかに生活習慣を改善し、自分のからだをコントロールしていくかが大切です。

夜間当番医(夜間診療)日程表

(午後6時30分～9時)

9月	曜日	医療機関名	電話番号
16	金	佐々木産婦人科医院	63-0105
17	土	盛岡外科医院	62-1101
18	日	としま医院	62-1267
19	月	戸嶋産婦人科医院	62-1123
20	火	近藤医院	62-1155
21	水	北秋中央病院	62-1455
22	木	津谷内科	62-2261
23	金	石川耳鼻咽喉科医院	62-1400
24	土	北秋中央病院	62-1455
25	日	佐藤外科消化器科医院	62-1420
26	月	奈良医院	62-1146
27	火	藤原医院	62-2882
28	水	佐々木産婦人科医院	63-0105
29	木	盛岡外科医院	62-1101
30	金	としま医院	62-1267

○ 応急の診療を要する患者。
○ 往診はしておりません。
○ 仕事や職場の都合で夜間診療を受ける場合は、診療に

※ 年齢・病気の症状にかかわらず当番医に電話等でご相談ください。

第5回全国障害者雇用促進展示会

ハートフルフェスタINあきた

入場無料

きかん 9月30日(金) 10月1日(土) 2日(日)

じかん 10:00～17:00

(最終日は16:00まで)

かいじょう 秋田県立体育館

- ないよう
- パネル・製品展示
 - パソコンコミュニケーション
 - 障害者職業自立のための相談コーナー
 - ふれあいステージ
 - 展示即売・場外物産コーナー
 - 喫茶・ラーメンコーナー

その他

主催 (社)全国重度障害者雇用事業所協会
 <お問い合わせ先>
 第5回全国障害者雇用促進展示会準備事務所
 (☎0188-37-5108)

9月の健康ごよみ

■19日（月）

○母子健康手帳交付と第1回妊婦教室

場所—中央公民館保健相談室

受付時間—午後1時～1時10分

（妊婦教室終了は3時）

持参—印鑑

■22日（木）

○リハビリ学級

内容—合川町で交流運動会

■27日（火）

○4カ月児健康診査

対象—平成6年5月生まれのお子さん

場所—中央公民館ホール

受付時間—午後1時～1時15分

持参—母子健康手帳、バスタオル

○7カ月児健康相談

対象—平成6年2月生まれのお子さん

場所—中央公民館ホール

受付時間—午前9時30分～9時45分

持参—母子健康手帳、バスタオル

■28日（水）

○健康相談と健康教室

場所—中央公民館保健相談室

時間—午前10時～12時／午後1時～3時

内容—「老人ボケを防ぐ」

健康相談、血圧測定、慢性病予防教室

（ビデオによる健康教育）

〔予防接種のお知らせ〕

■3種混合（ジフテリア・破傷風・百日せき）

対象—生後24カ月～48カ月のお子さん

場所—中央公民館ホール

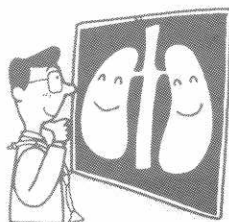
受付時間—午後1時～2時

持参—母子健康手帳

接種日程—28日（水）鷹巣地区以外

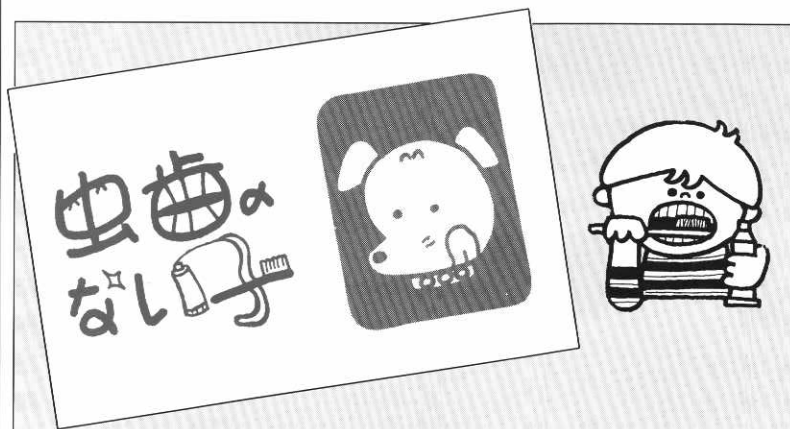
29日（木）鷹巣地区

健康広場



「結核予防週間」

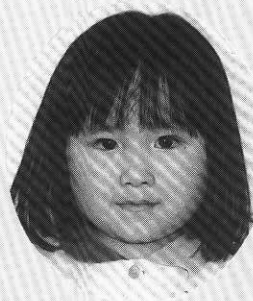
（9月24日～30日）



～7月6日に行われた3歳児健診で
虫歯のなかったお子さんを紹介します～



南鷹巣
ながおか あやちゃん

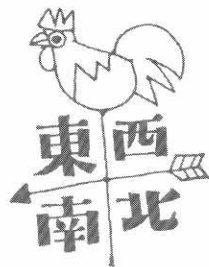


新田中
こまつ ちひろちゃん



七日市大畑
しばた たかのりちゃん





成田さんに県知事から感謝状

—秋田県農山漁村生活研究グループ
協議会三十周年記念大会—

今日五日、秋田市民文化会館で行われた秋田県農山漁村生活研究グループ協議会三十周年記念大会で、長年農村地域の発展に寄与されたとして成田ミネさん（東横町・六十六歳）に県知事から感謝状が贈られました。

成田さんは昭和五十四年から六十二年まで同協議会鷹巣地区の会長を務められたほか、昭和五十九年から六十二年までは同県協議会会長も兼任され、今回東北地区ではただ一人の受賞者となりました。

役場に受賞の報告に訪れた成田さんは、「私一人の力だけでなく地域の皆さんの協力があったからこそ、今回の受賞につながったのです」と喜びを語っていました。



これからきのこ採りのシーズンです



今年には全県各地でクマが異常出没していますが、鷹巣町でも先月末、小森にある養鶏場がクマに襲われ、鶏約八十羽がかみ殺されるという被害がありました。

そのため町では有害鳥獣駆除許可を受け、今日二日早朝、地元の猟友会員たちにより養鶏場を襲ったとみられる親グマ一頭と子グマ二頭が射殺されました。

射殺された熊の親子は、今年日照りつづきで降水量が少ないことから山の木の実が不作でエサを求めて養鶏場を襲ったものとみられており、町内の民家の近くまで出没しています。

これからきのこ採りのシーズンを迎え、山に入る時は次のことに十分注意してください。

○入山するときは、ラジオなどを持参のうえ、音を出すようにしましょう。

○一人での入山は避けるようにして、グループで行動しましょう。

第14回 鷹巣町発明工夫展



アイデア作品が勢ぞろい

—第十四回鷹巣町発明工夫展—

町教育委員会主催の第十四回発明工夫展が、今日三日・四日の二日間中央公民館で開かれ、町内各小学校からの百十一点の作品が展示されました。応募された作品はいずれもユニークなアイデアを生かした力作ぞろいで審査も難行したようでしたが、次の方々をはじめ二十二人の作品が入選しました。

- 【町長賞】小笠原将太（西小五年）「非常用具セット」
- 【議長賞】佐藤愛（南小三年）「水かえラクラク花びん」
- 【教育委員長賞】畠山晋作（綴子小四年）「ピッカピカ」
- 【教育長賞】千葉ルミ子（南小四年）「かとりせんこう火山」
- 【審査委員長賞】宮腰絵美子（南小五年）「専用便利カサ入れ」（敬称略）

暮らしの情報

INFORMATION

平成七年度小学校 入学予定者 健康診断

平成七年度小学校入学予定者の健康診断を次の日程で行います。指定する会場校へ受付時間までにおいでください。受付時間は全会場とも十二時三十分から十二時四十五分までです。

- ▽西小 十月三日(月)
 - ▽鷹巣小 十月四日(火)
 - ▽綴子小 十月十一日(火)
 - ▽南小 十月十七日(月)
 - ▽竜森小 十月十八日(火)
 - ▽中央小 十月二十八日(金)
 - ▽東小 十月三十一日(月)
- ※詳しくは後日、入学予定者あて通知いたします。
※お問い合わせは教育委員会学校教育係(内線四二三・四二七)まで。



「動物愛護週間」
(9月20日～26日)

有料道路料金の 障害者割引範囲 が変わります

十月一日(予定)より、有料道路通行料金の割引措置(半額)を受けられる方の範囲が次のように広がります。
▽全ての身体障害者が自ら運転する場合
▽重度の身体障害者または重度の精神薄弱者(JRにおける第一種身障者等と同じ範囲)を乗せて介護者が運転する場合

※割引措置手続きに身障者手帳または療育手帳、免許証・自動車の登録番号の記載が必要です。

※お問い合わせは福祉保健課福祉係(内線一三六〇七)へ。

平成六年度 自衛官募集

防衛庁では、来春卒業予定の高校生を対象に自衛官の募集をしています。

各募集種目の受付期間は、十月三日から三十一日までで、第一次試験日は次の通りです。
▽看護学生(女子) 十一月九日

年金だより ⑤

「こんなとき忘れずに届出を」

二十歳以上六十歳未満の国民年金の加入者は保険料の納付方法のちがいににより三種類にわけられます。そのため結婚や退職などで種別が変わるときは、市町村役場に届出が必要です。

(ケース1) 第一号被保険者とは、自営業者とその家族などです。厚生年金や共済組合の加入者が退職し、自営業をはじめたときなどは第一号被保険者になりますので、国民年金の資格取得届(第一号被保険者該当届)を提出しなければなりません。
(ケース2) 厚生年金や共済組合の加入者は国民年金では第二号被保険者となります。自営業者が会社などに就職したときなどは第二号被保険者になりますので、国民年金の資格喪失届(第二号被保険者該当届)の提出が必要です。
(ケース3) 厚生年金や共済組合の加入者の妻(被扶養配偶者)は第三号被保険者になります。結婚のため会社をやめてサラリーマンの妻になったときなどは、第三号被保険者該当届を提出しなければなりません。

「自賠責 加入するまで 赤信号」

9月は無保険(無共済)バイクをなくそうキャンペーン

運輸省/自動車事故対策センター

秋の全国交通安全運動

(9/21~9/30)

重点

- シートベルト着用の徹底
- 高齢者の交通事故防止



「十五夜」
(9月20日)

▽防衛大学校学生(男女) 十一月十二日~十三日
 ▽防衛医科大学校学生(男女) 十一月五日~六日
 ※詳しいお問い合わせは、役場住民生活課住民係(内線一二三~一二五)または、自衛隊大館出張所(☎〇一八六一四二~一三九八)まで。

平成六年度 消防設備士試験

平成六年度消防設備士試験が次の要領で行われます。

▽試験区分 ①甲種消防設備士 ②乙種消防設備士

▽試験日 十月二十七日(木)

▽試験会場 秋田市文化会館(秋田市山王七丁目三番一号)

▽受付期限 九月二十七日(火)まで持参・郵送とも必着のこと。

▽受付時間 月曜日~金曜日 午前九時~午後四時三十分

▽申込先 財団法人消防試験研究センター秋田県支部(秋田市中通四丁目三番二十三号秋田県消防会館内)

※願書を郵送する場合は必ず封書に「願書在中」と朱書きのこと。

※詳しくは鷹巣消防本部(☎六二一一一九)まで。

スキー用品 チャリティーバザー

鷹巣スキーレーシングスポーツ少年団では、団結成十五周年記念イベントの一つとして物を大切にするのとスキー人口拡大をキャッチフレーズに、十月十六日(日)、第一回スキー用品チャリティーバザーを行います。

ご家庭で眠っているスポーツ用品を出品希望の方は、有料無料の別、住所、氏名、電話番号を添えて、十月十三日(木)までにお届けくださるようお願いいたします。

▽届け先 鷹巣町住吉町七一 奈良正人(☎〇一八六一六二一一四六)まで。

「鷹巣囲碁クラブ」 会員募集

「鷹巣囲碁クラブ」(会長 澤田八郎)では、ただいま会員を募集しております。

活動日は、毎週水曜日(午後一時~六時)と毎月第二・第四土曜日(午後一時~六時)で、当番を決めて準備・後片付け・日誌の記入を担当しています。

愛される町にしたいね 下水道

下水道事業の財源

・建設にかかる財源

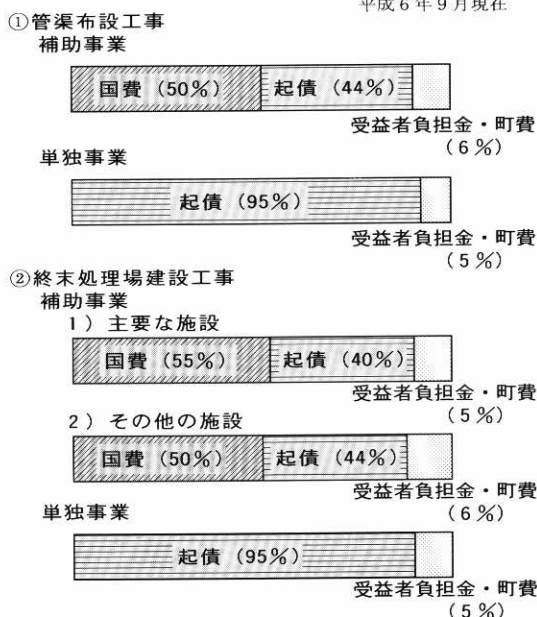
下水道の建設には、長い年月と巨額の資金を必要とします。財源としては、国の補助金や起債(借入金)・町費(税等)及び下水道が整備されることによって恩恵を受ける受益者の皆さんから建設費の一部を負担してもらう受益者負担金などがその内容となっています。

・維持管理にかかる財源

下水道を使用するようになると、皆様から毎月使用料を納めていただきます。使用料は、ポンプ場や処理場の運転、下水管路の清掃や補修など施設の維持管理費用にあてられます。

《財源内訳》

平成6年9月現在



慶弔だより

8月16日～31日・敬称略

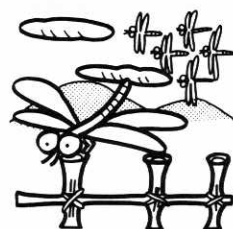


お誕生おめでとう
ございます

長谷川	かなた (真由香里)	長男	平成町
長岐	かずや (英実)	長男	七日市本郷
近藤	あかり (義則)	二女	南鷹巣
武石	みなみ (弘美)	長女	内幸町
高橋	ひろむ (篤由美)	長男	舟場
佐藤	だいち (正身)	長男	材木町
吉田	りょう (和則)	長男	糠沢
成田	みお (司美)	長女	小森
田村	あやみ (恭一)	長女	摩当
鈴木	えりさ (弘樹)	長女	前野

おくやみ申し上げます

亀山	茂 (69歳)	太田
伊東	ユキ子 (70歳)	材木町
戸澤	リツ (82歳)	元町
戸澤	英一 (81歳)	前山
永井	通雄 (71歳)	深関
成田	重蔵 (70歳)	七日市本郷
阿部	喜代丸 (69歳)	高野尻
田村	キヨ (59歳)	摩当
近藤	儀三郎 (83歳)	中屋敷
畠山	六太郎 (78歳)	三の渡



また、段・級位の認定は各自から「段級位自己申請書」を提出していただき、それをもとにして役員会で原案を作成し会員相互で認定することとしています。

七月三十日現在で会員数は三十一名となっております。
※お問い合わせは幹事小坂昭雄(☎六二一七三九)まで。

司法書士 法律相談

秘密は固く守られますのでお気軽においでください。
▽日時 十月一日(土)・午前十時半～午後四時半
▽場所 大館市・正札竹村
▽相談内容 土地、建物、会社、法人の各種登記など
▽相談料 無料

香典返し

※お問い合わせは、秋田県司法書士会大館支部(☎〇一八六―四九一四六九七)まで。

このほど次の方々から、香典返しとして町社会福祉協議会へ寄付金をいただきました。
ご芳志に感謝いたします。
▽深関 永井通徳さんから亡父通雄さんの香典返し
▽川口 中嶋正彦さんから亡祖父常松さんの香典返し
▽新舟見町 藤嶋稔さんから亡父茂夫さんの香典返し
▽糠沢 出川義之さんから亡父義一郎さんの香典返し
▽元町 戸澤敬一郎さんから亡母リツさんの香典返し
▽松葉町 森山ミツさんから亡母ラクさんの香典返し

ただいま

『長岐家所蔵品特別展』開催中です

このたび、七日市地区長岐宗家の血縁者のご好意により、「長岐家特別展」として所蔵品の一部を展示させていただいております。「老農置土産並びに添日記」を書き残した7代七佐門の肖像掛軸や、佐竹公本陣の際に使用された什器・家具類などすばらしい展示品の数々をぜひごらんください。

- 開催期間 11月6日(日)まで
- 開催時間 午前9時～午後5時
- 開催場所 たかのす風土館(ファルコン) 1階特別史料展示室
- 主催 鷹巣町教育委員会

平成6年度 文化庁移動芸術祭寄席芸能公演

寄席 芸能

出演

おはやし 持田尚美

落語 桂 小 前座

落語 桂 小 文

講談 神 田 陽 子

落語 桂 歌 丸

△仲入り▽

落語 柳 亭 小痴楽

曲芸 ボンボンブラザース

落語 桂 文 治

「芸術祭」が
「東京」からやってくる。



製作・社団法人 落語芸術協会

10月17日(月) 開場=午後6時00分、開演=午後6時30分
鷹巣町たかのす風土館(ファルコン)

入場料=前売券一般2.800円 小中高1.500円
(全席自由) 当日券一般3.300円 小中高2.000円

主催=文化庁/秋田県教育委員会/鷹巣町教育委員会 後援=鷹巣町芸術文化協会